

じとうまち  
**地頭町地区**  
(石川県志賀町)

- 計画期間 平成19年度～平成23年度
- 面積 13ha
- 交付対象事業費 214百万円
- 町人口 19,418人 (地区内人口 513人)

**ポイント** 地域資源を活用したまちの魅力向上と安全・安心・快適なまちづくり及び住民が主体となったまちづくり活動の展開。

**地区概要** 中心市街地の空洞化や少子高齢化など、激変する社会情勢に対し、いつまでも住み続けられる・住み続けたいまちづくりを目指すものである。

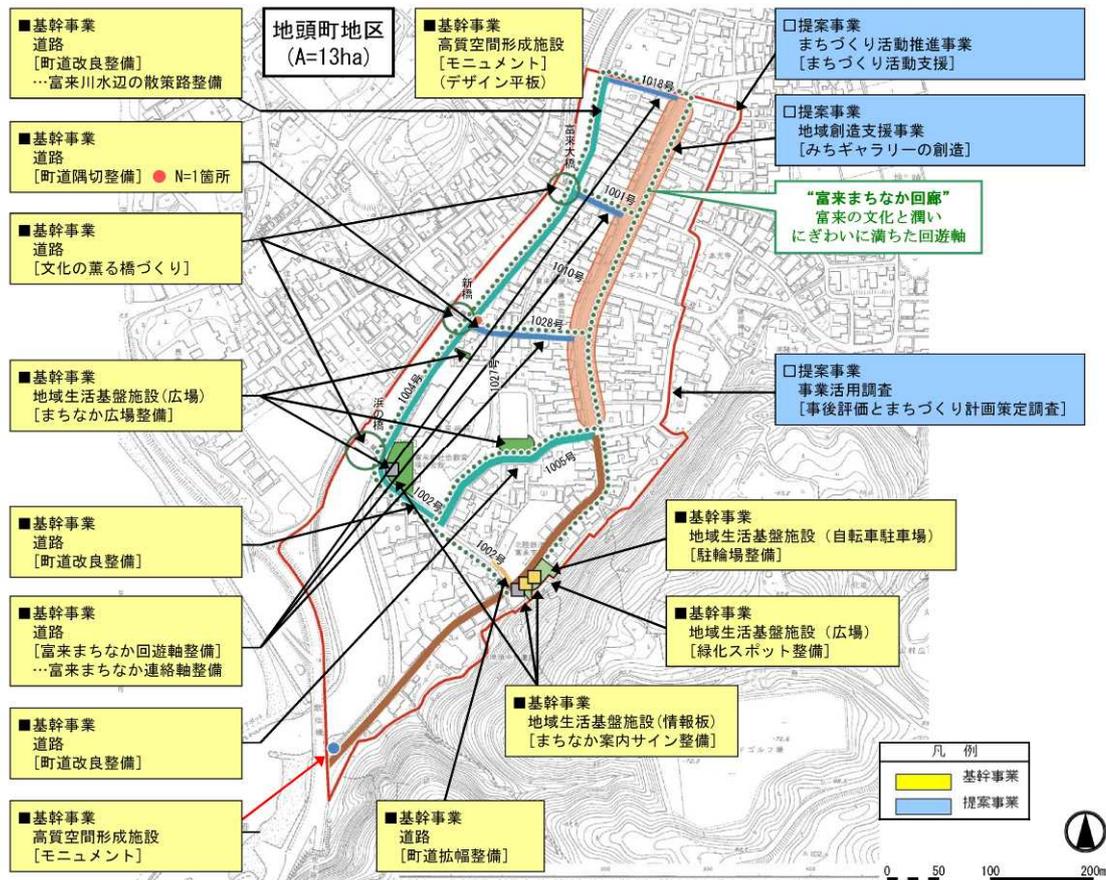
**目標** 地域資源を活用したまちの魅力向上と安全・安心・快適なまちづくり、また、地域コミュニティの醸成と住民主体のまちづくりを実践することにより、いつまでも住み続けられる・住み続けたいまちの創造を目指す。

**指標** 安全・安心・快適なまちづくりを、人口減少率の緩和と道路環境への満足度、地域まちづくり活動の実施回数を指標に判断する。

定住人口	765人 (H18年度) → 725人 (H23年度)
道路環境への満足度	50% (H18年度) → 70% (H23年度)
地域まちづくり活動の回数	6回/年 (H18年度) → 12回/年 (H23年度)

**事業内容** 基幹事業 (202百万円) → 道路 (幅員3m～10m、延長1,070m)、隅切 (1箇所)、橋梁修景 (3橋)、広場 (3箇所、1,225㎡)、案内サイン (2基)、総合サイン (2基)、緑化スポット (1箇所、230㎡)、駐輪場 (1棟、30㎡)、モニュメント、街角オブジェ

提案事業 (12百万円) → みちギャラリー (一式)、みちギャラリー (一式)、まちづくり活動支援 (一式)、事後評価とまちづくり計画策定調査



## 地区の現況と課題

### 地区の現況

旧富来町の中心部として地域の経済・文化を継承してきた地頭町地区においては、中心市街地の空洞化や少子高齢化の進展など、社会情勢の激変に対し市街地の再生に向けた取り組みが求められている。

このような背景の中、富来地区の目抜き通りである(都)地頭町線の整備が進められ、道路整備と一体となった周辺まちづくりのあり方について、沿線の地域住民が主体となって検討を進めている。

### まちづくりの課題

地頭町地区には、豊かな自然環境や歴史ある地域文化などの地域固有の資源が存在しており、これら地域資源をまちづくりに有効に活用するためには、安全かつ快適に散策できるまちなか回遊ルートの整備が必要である。

また、「医療ゾーン」の拠点となる町立富来病院が立地しており、その機能を高めるためにも、安全な歩行者空間を確保するなどの環境整備が必要である。

さらに、魅力的なまちづくりの実践に向けては、地域住民を主体とした継続的なまちづくり活動への働きかけや積極的な支援が必要と考えられる。

## 提案事業の特徴

### まちの駅整備

富来地区の玄関口として位置付けられる「まちの駅」を地域の歴史や文化を発信する拠点として位置付け、総合案内サービスの充実を図る。

### みちギャラリーの創出

地域文化をまちづくりに活かすと共にまちなかを楽しく歩ける仕掛けづくりとして、ホルダーやポスターケースの整備を行い、「みちギャラリー」の創出を図る。

### まちづくり活動支援

地域の活性化を目的に地元商店街が運営している「まちなかギャラリー」など、地域住民によるまちづくり活動の積極的な支援を行う。

## 計画策定プロセス

### 地域住民の取り組み

地頭町地区では平成 13 年度より(都)地頭町線の整備に併せ、富来中心部のまちづくりや(都)地頭町線沿線の活性化策など、まちづくり計画の検討を実施している。

### まちづくりアンケートの実施

まちづくりの方向性を把握することを目的に、現状の道路環境における安全性や快適性に関する満足度の調査を行う。



▲ 目抜き通りの整備状況



▲ 水辺の散策路整備イメージ



▲ 水辺の散策路整備状況



▲ まちなかギャラリー



▲ まちづくり協議会の様子